

📌自分らしい生き方、応援します！

ソーレ・スコープ

S O L E S C O P E



Take
Free

ご自由に
お取りください

102

2022.Oct.

1～2P 令和4年度 男女共同参画推進月間講演会

ポストコロナ・サバイバル
あなたはどうか生き、どう働く？
大沢真知子さん

3～4P WEBアンケートから見る・考える「こうちの男女共同参画」

第2回 女性の政治参画

寄稿 「女性の政治参加は充分？」

池谷江理子さん

5～6P 講座・貸室のご案内

7P ソーレ相談室のご案内
ソーレ図書・情報資料室から

詳しくは
HP <https://www.sole-kochi.or.jp>



HP



Facebook



Twitter



Instagram



ポストコロナ・サバイバル あなたはどう生き、どう働く？

6月18日(土)14:00～16:00 開催 オンデマンド配信 6月20日(月)～7月3日(日)

講師

大沢真知子さん (日本女子大学名誉教授)

南イリノイ大学経済学部博士課程修了。シカゴ大学ヒューレットフェロー。ミシガン大学ディアボーン校助教授、亜細亜大学助教授・教授、日本女子大学教授を経て現職。専門は労働経済学。近著書は『21世紀の女性と仕事』(左右社、2018)『なぜ女性の管理職は少ないのか』(青弓社、2019)。東京都女性活躍推進会議専門委員。



アメリカで起きた「静かな革命」

1960年代のアメリカでは、女性の社会進出が進むのに併せて起こった市民権運動により、女性のアイデンティティは大きく変化した。女性の高学歴化が進み、家族の形も多様化した。社会の意識そのものが変わったことから「静かな革命」と呼ばれている。

日本では働く女性が増えてきているにもかかわらず、労働環境や社会保障制度は変化していない。私たちの意識自体があまり変わってこなかったため、結果として、家庭で女性に犠牲を強いている。制度を変えることが必要だが、日本ではそれが困難なために「女性を男性と平等に」と言われても「このままで構わない」となっている。重要なのは、時代の変化の先を知り、その方向を見ながら、私たちが意識を変え行動していくこと。

平等と思える関係性を築く



大きな時代の流れを見ると、日本も共働きが標準になっており、これからポストコロナを生きる夫婦は共に働き、共に子育てをする時代になる。北欧やアメリカでは、今や父親の育児は当たり前になっている。妻が会社でバリバリ働き、自営業の夫が子どもを世話するなど、それぞれの夫婦がそれぞれの働き方や子育ての方法を選択している。

性別役割分業を超えて、何をどう分担するのがベストで平等であるのかをそれぞれの夫婦が話し合っ決めていくことが重要であり、自分たちにとってフェアだと思える関係性を築くには、夫婦間のコミュニケーションが鍵になる。

ポストコロナのライフキャリア

コロナが蔓延し始めた初期の頃、非常事態宣言が出され、行動が制限され、在宅勤務が推奨された。その頃からワークライフバランスの意識が変化しはじめ、特に多くの若い世代が生活を重視する

といったことが起きている。私たちはコロナ禍を経ることで「人生にとって大切なものは何か」について改めて考える時間をもらえたと思う。

私たちは仕事をするために生きているわけではなく、「ライフキャリア(仕事に限らず、家庭や趣味、地域との関わりなど、生涯にわたる役割や日々の経験の積み重ね)」を充実させ、多重な役割を担いながら生きている。

21世紀のキャリアのあり方とは、どういう生き方をしていきたいのかを自分で考え、それに従った生き方・働き方を選択していくということではないだろうか。私たちが経験するつまづきや仕事や家族との関係において何となくしっくりこないことを人生の転機と考え、より自分にとってふさわしい人生を選択するきっかけにすることができる。

ポストコロナのライフキャリアとは何か。異なる価値観をもつ他者と出会い、両者にとって生きやすい環境を整えていくことではないだろうか。

異なるものを排除せず、異なるものに価値を認め、それを取り入れることで新しい発想が生まれ、時代の閉塞感をうち破ることができる。そうすることで豊かな関係性が作られ、既存の制度も変わらざるをえなくなる。



私たちはこれからの時代を どう生き、どう働くか

日本で女性がなかなか活躍できないのは「女性は(結婚や出産で)どうせ辞めるだろう」という前提でチャレンジの機会すら与えられなかったことが大きい。その結果、多くの女性が仕事をやめ、人材浪費が起き、経済がうまく回っていない。実際には、女性の活躍は企業業績と直結する時代が来ている。女性の活躍を推進しないと社会が機能しない。女性も既存の生き方や社会の価値観に自分を合わせるのではなく、自分の人生を自分でデザインしていく時代が来ている。つまり自分の人生を主体的に選び、環境の変化に合わせて柔軟に豊かに生きることが重要となる。価値が多様化していく環境の中で自分らしく生きることを最終的な目標として、異なる生き方を尊重しながら共生する社会こそ21世紀の日本の社会なのではないか。そのためには生き方に中立な社会制度が必要だ。

日本におけるジェンダー平等はまだ成功したとは言えないが、何も変わっていないと結論づけるのは早すぎる。例えば、不平等だと感じることに口を塞がない人が増えている。私たちが互いに尊重しあい、助け合うことで得られるものは大きい。そしてコロナが教えてくれた「人生にとって重要なことは何か」「豊かに生きるとは何か」。これが今、私たちに問われていることだと思っている。



第2回 女性の政治参画

皆様のホンネをお聞きしました

7月の参議院議員選挙では、女性候補者181名のうち過去最多の35名が当選。全当選者に占める割合は28%でした。

「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が2018年に成立して4年が経過し、「女性をもっと政治の場に！」という声は高まってきています。

今回のWEBアンケートは「女性の政治参画」をテーマに実施。その結果をご紹介します。

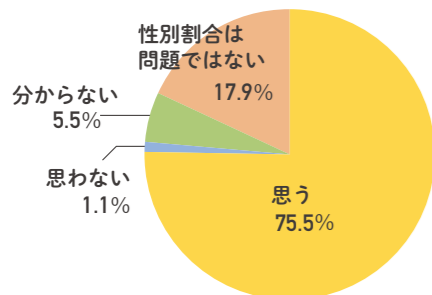
アンケート結果は、ソーレHPの「調査・研究」内の「【ソーレWEBアンケート】第2回「女性の政治参画」」に掲載。いただいたご意見も紹介しています、是非ご覧ください。

〈アンケート実施期間と方法〉
令和4年6月15日～7月15日(Googleフォームを使用)
〈回答者総数〉273名(県内264名、県外9名)
【性別毎の割合】
女性166名(60.8%) 男性98名(35.9%) その他4名(1.5%) 回答しない5名(1.8%)
【年代毎の割合】
内訳:19歳以下30名(11%) 20歳代62名(22.7%) 30歳代42名(15.4%)
40歳代60名(22%) 50歳代57名(20.9%) 60歳代18名(6.6%)
70歳代3名(1.1%) 80歳以上1名(0.4%)

女性議員の割合

- 衆議院における女性割合(令和4年4月現在)..... 9.9%
- 参議院における女性割合(令和4年5月現在)..... 22.9%
- 全国の地方議会議員における女性割合(令和3年12月現在)..... 15.1%
- 高知県議会議員における女性割合(令和4年4月現在)..... 13.5%
- 県議会を除いた県内地方議会議員の女性割合(令和4年4月現在)..... 13.8%

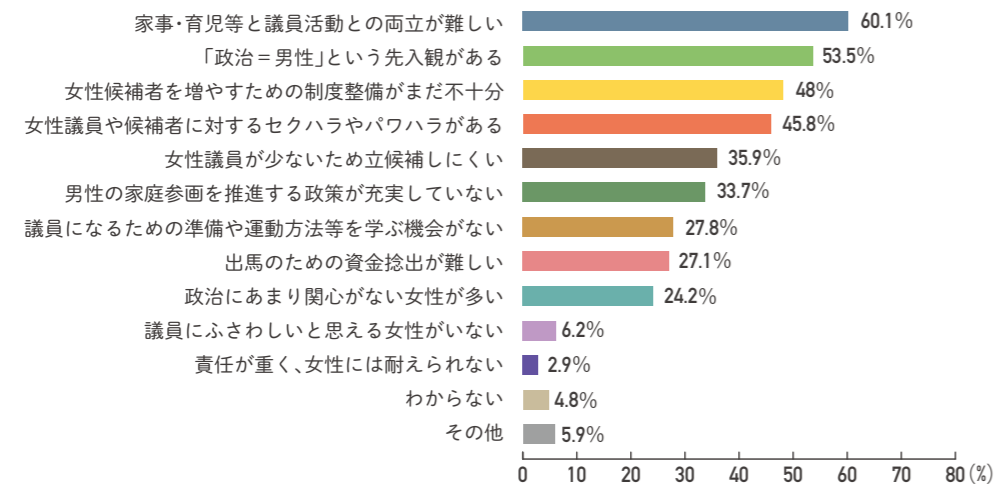
問1 女性議員がこれからもっと増えた方がいいと思うか？



全体の8割近くの回答者が「増えた方がいい」と回答しました。「性別割合は問題ではない」との回答も2割近くありました。

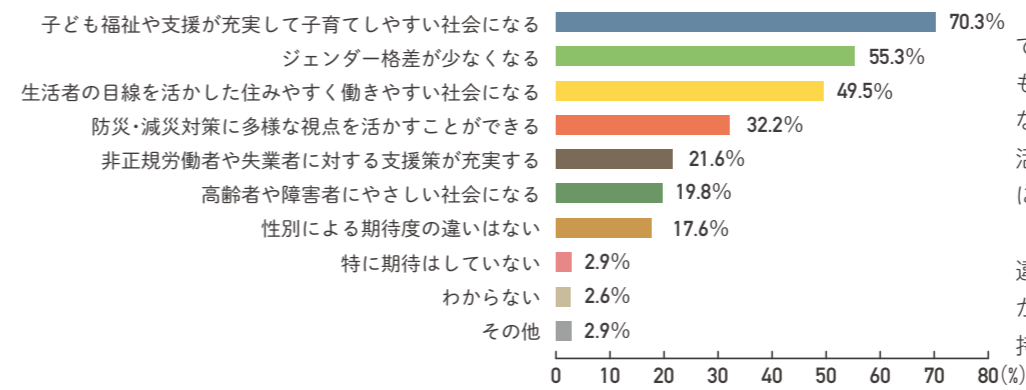
「増えた方がいい」と思う理由として「女性の立場向上や女性のための制度・考えが反映される」「政治を多面的な視点から見るができる」などの意見があり、「性別割合は問題ではない」と考える理由としては「性別ではなく能力で選出されるべき」などの意見がありました。

問2 女性議員割合が低いのはなぜだと思うか？(選択式・複数回答)



最も多かったのは「家事・育児等と議員活動との両立が難しい」(60.1%)で、「政治＝男性」という先入観がある」(53.5%)、「女性候補者を増やすための制度整備がまだ不十分」(48%)、「女性議員や候補者に対するセクハラやパワハラがある」(45.8%)も多くの方が選択しました。女性議員が活動するには、周囲の理解やサポートする仕組みが不十分だと考えられていることがわかります。

問3 女性議員が増えることで期待する変化(選択式・複数回答)



「子ども福祉や支援が充実して子育てしやすい社会になる」が70.3%と最も多く、次いで「ジェンダー格差が少なくなる」(55.3%)、「生活者の目線を活かした住みやすく働きやすい社会になる」(49.5%)となっています。

約6人に1人が「性別による期待度の違いはない」(17.6%)と回答し、女性議員が増加することに対して特段の期待を持っていないこともわかりました。

自由意見

- 性別に関わらず人々の生活に寄り添ってくれる議員が増えることを希望する(20歳代・女性)
- 男女間の所得格差など女性の社会進出を阻む根本的要因の解決が必要(30歳代・男性)
- 「女性」「男性」を意識する必要がない自由な風潮になることを望む(40歳代・女性)
- 男女で役割が違うという古い考えから脱却しなければ先には進まない(50歳代・男性)

寄稿

女性の政治参加は十分？

池谷 江理子さん(高知高専名誉教授)

(プロフィール)
1950年北海道生まれ。1992年高知高専着任、英国ロンドン大文科省在外研究員派遣、高知高専教授。2014年高知短期大学社会科学科特任教授。専門は経済地理学、ジェンダー・少子化・子育て支援の地域研究。



世界経済フォーラムが7月に発表した男女平等の度合において日本は世界146カ国中116位でした。指標は経済・教育・健康・政治参加から成り、経済と政治が低位でした。

消費者運動等による政治参加では女性が活躍しています。しかし、政治家や議員に目を向けると、女性の比率は衆議院で9.9%、参議院で22.9%、都道府県議会12%、市区町村議会15%に止まります(衆・参院2022年、他2021年)。議員の女性比率を世界と比較すると、日本(衆議院:下院)は190カ国中168位(列国議会同盟、2021年)と低位です。衆院では1947年以降、女性比は5%未満でしたが2005年以降、約1割へ増加、参院・地方議会(1976年以降)でも増加が見られますが緩慢です。

代議制では議員は住民を代表し様々な意見・課題を代弁する「たてり」となっています。平和・環境・物価・格差・少子化等難問が山積する今、議会に衆智が結集される必要があります。ソーレのWEB調査でも「女性議員割合は増えた方がいい」の声が多数でした。

そこで性別バランス改善に向けた課題と解決の方策を考えてみます。

1. 未だ家事育児等と議員活動の両立は難しく、男性の家事参画の推進も進んでいません。女性議員が家庭と政治活動を両立できる制度や子育て等支援体制の確立が必要です。
2. 大切な仕事であるにも関わらず、議員志望者は多くありません。現状を打破するため、人々の議会・立法制定への興味関心を呼び起こし、将来の進路として議員や議会活動を支える人材への成長を啓発・支援する仕組みが望まれます。あわせて、時々ジェンダーに関わる時事・立法上の現況や課題について学び討論できる場が必要です。
3. 教育・就業経験等は議員候補者としての能力や資質に大いに関係します。興味と能力のある子は保護者の経済力や性を問わず教育を受けられ、能力があれば性別に関わらず就職でき、給料・待遇で差別を受けない社会づくりが望まれます。
4. 候補者男女均等法(2018年制定)の活用です。選挙制度の制約等、課題に対し環境整備が望まれます。

政治分野への女性の参画拡大は、ジェンダー平等を進め、多様な視点を政策に反映させるうえでとりわけ重要です。今回のWEB調査においてもその期待の大きさがうかがえました。一方、議員としての活動には家事・育児との両立などへの課題の大きさも感じられました。

法制度等の整備も含め、社会制度や慣行が女性に不利に働いている問題をどう解消し女性の政治参画につなげていくのか。様々な場での議論が求められていると思います。

次回テーマは「性教育」

10月15日まで実施中!



ご協力をお願いします。

講座のご案内

● 詳しくは、HPをご覧ください。 ● お申し込み・お問い合わせは、**088-873-9100**まで
(受付時間 9:00~17:00)

無料 受講無料 託児付き(6カ月~小学3年生まで・予約制) 未就学児童は無料。小学生は1家族500円。 オンライン 受講可能

DV防止啓発講演会

2会場で開催!

外では見せない 内の顔 ~家庭内のモラル・ハラスメント~

※ソーレ会場のみ要約筆記あり

家庭内で繰り返しおこなわれるモラハラは、外から見えずらい精神的DVにあたります。被害者も加害者も無自覚なまま深刻化する恐れがあり、早く気づいていくことが大切です。誰もが身近なこととして、モラハラについての理解を深めていきましょう。

申し込み
二次元コード



日時 11月13日(日) 13:30~15:30(開場 13:00)

講師 高山直子(カウンセラー)

【プロフィール】

女性問題専門カウンセラーとして、大学のハラスメント専門相談員、東京都の労働相談情報センターの健康相談員として活動。セクハラなどの性的被害やDV、女性の労働問題を専門にしている。



講師著書

会場1

こうち男女共同参画センター「ソーレ」3階 大会議室

申込先 ソーレ 11月4日(金)17時まで
電話またはHP申し込みフォームにて受付中

定員 100名(先着順)

託児 11月4日(金)までに要予約

会場2

四万十市社会福祉センター2階大会議室(四万十市右山五月町8番3号)
(会場のスクリーンにてライブ視聴。講師は来場しません。)

申込先 四万十市教育委員会生涯学習課人権教育係 電話0880-34-6299
10月3日(月)~11月4日(金)17時まで 電話にて

定員 50名(先着順) 託児 なし

オンラインライブ配信も行います!

申込 11月4日(金)17時まで ソーレHPにて(Peetix/YouTubeライブ配信)
※資料は11月4日(金)迄にお申込みの方に限り郵送します(ダウンロードはありません)。

【共催】高知地方方法務局/高知県人権擁護委員連合会/高知県女性保護対策協議会 【協力】四万十市教育委員会 生涯学習課 人権教育係

ジェンダーカフェ 身近なジェンダー問題をまじめに語る

身近にあるジェンダーに気づき一緒に考えます。各回のテーマにそった講師からのお話をもとに、参加者同士が気軽に雰囲気でお話し合うカフェ形式の講座です。

日程	テーマ	講師
10月2日(日)	ルッキズムを考える - 外見にもとづく差別や偏見とは何か -	小島優子(高知大学人文社会科学部門准教授)
11月5日(土)	女性議員はなぜ増えないのか? - ハラスメントの実態から考える -	濱田真里(一般社団法人ジェンダー総合研究所共同代表)
12月4日(日)	近代高知の女性 - 資料に見るそのすがた -	筒井秀一(高知市立自由民権記念館館長) 濱田実侑(高知市立自由民権記念館学芸員)
2月12日(日)	誰もが働きやすい社会とは - 「仕事×ジェンダー」の視点から考える -	安藤真由美(一般社団法人ジェンダー総合研究所共同代表)

時間 13:00~16:00

定員 各回20名(先着順)

対象 テーマに関心のある方

申込 電話またはHP申込フォームにて

※受付開始日等の詳細は、HP等でご案内します。

女性の居場所づくり事業

ゆるりのしっぽ

コロナ禍で不安や孤独を感じている女性がホッと一息つけるスペースです。こころやカラダをゆるめつつ、自分のペースで自分に必要なチカラをつけていきます。途中のご参加も退室もOKです。

● これまでのワタシ、これからの私

さまざまな事情により、しばらく働くことから離れていると、キャリアが途切れたように感じることがあります。でも、キャリアはお仕事のことだけではないんです。「まるごとの私」とつきあっていくために、日々の生活の中で積み上げてきたものを、ちょっとふり返ってみませんか。

日時 11月21日(月)14:00~15:00

講師 山下由香(高知家の女性しごと応援室キャリアコンサルタント/産業カウンセラー)

対象 女性 申込 不要 託児 受講日4日前までに要予約

コスメバンクプロジェクト様ご提供のコスメキットもご用意しています。(初めて参加の方)

男性家事・介護基礎講座

ケアメンをサポート

~料理初心者のための介護食づくり~

高齢者が住み慣れた自宅での生活を続けるためには、家族が食事量や体の変化に注意しながら、食べやすい料理をつくるのが大切です。食事づくりに慣れない男性介護者も手軽に作れる介護食講座です。料理が苦手でも大丈夫、一緒に作りましょう!

日時 11月27日(日)10:00~13:00

講師 和田房子(居宅療養管理指導事業所ひさ管理栄養士)

受講料 1,300円(材料費含む)

対象 男性 定員 12名(先着順)

申込 10月22日(土)9:00~ 電話またはHP申込フォームにて

男女共同参画講座

働き方と家族の未来図

データから読み解く仕事・家庭・ジェンダー

働き方や家族に対する人々の意識は、どのように変化し世代間ギャップにつながっているのでしょうか。日本の社会問題の最前線で調査にあたる講師と共に、自分らしい人生を生きるための働き方、家族のあり方を考えます。

日時 12月10日(土)13:00~16:00

講師 筒井淳也(立命館大学産業社会学部教授)

対象 テーマに関心のある方

定員 会場30名 オンライン20名(各先着順)

申込 10月8日(土)9:00~

電話またはHP申込フォームにて

【新型コロナウイルス感染症拡大防止について】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、室内の定期的な換気等の対策を行っております。皆様におかれましてもマスク着用及び、入館時の手指消毒等へのご協力をお願いいたします。健康上の理由などによりマスクが着けられない方へのご理解をお願いします。

- ・ 講座及び講演会等は、新型コロナウイルス感染症の状況により、中止またはオンライン開催のみとなる場合があります。
- ・ 会場参加は、高知県在住の方に限ります。

【オンライン(Zoom)による講座について】

オンライン受講のお申込み受付は、HPのみで行います。受講に関する注意事項等につきましてはHPをご確認ください。

貸室案内

予約は「予約システム」またはお電話で!



予約システム

利用登録をすれば、「1時間単位」で借りられます。低料金、しかも備品使用料は無料です。

● 利用料のお支払い方法が多样!

現金での窓口払いのほか、「コンビニ」や「Pay-easy」でのお支払いが可能です。

● 駅・停留所から近く便利!

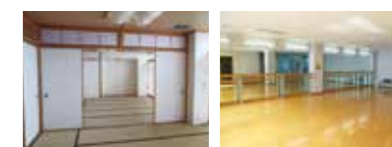
バス・電車の停留所、JR 旭駅から徒歩約5分以内です。

● Wi-Fiの利用が可能!

貸室内(レクリエーション室を除く)のみ。ご利用時は受付にお申し出ください。



大会議室



和室 レクリエーション室

ソール相談室のご案内

ソールには“こころ”をひらく場所があります。ひとりで悩まないで、まずはお電話ください（相談無料・秘密厳守）。

女性のための相談

一般相談 専用電話:088-873-9555

相談時間 休館日を除いた9:00~12:00、13:00~17:00
(受付は16:00まで)

法律相談 (1人30分・予約制)

日時 毎月第2・4木曜日 14:00~16:00

こころの相談 (1人50分・予約制) ※託児あり(要予約)

日時 毎月第1・3木曜日 14:00~16:00

男性のための悩み相談 (1人50分・予約制)

日時 毎月第1火曜日、第3・4水曜日 18:00~20:00

にじいろコール～LGBTsに関する相談～ 専用電話:088-854-8542

専門の相談員が、LGBTsなどの相談(性自認及び性的指向に関する様々な悩みや相談)をお受けしています。ご本人だけでなく、家族・友人・先生などもご利用になれます。発信者の電話番号は表示されません。安心してご相談ください。

日時 毎月第4土曜日 13:30~16:30

法律相談、こころの相談、男性のための悩み相談の予約電話番号は **088-873-9100** です。

- ・当月1日より翌月分を受付します。
- ・相談日は変更になる場合があります。あらかじめ、お電話またはソールHPの相談カレンダーにてご確認ください。

ソール図書・ 情報資料室から

図書約10,000冊以上、DVD約1,000本を置いています。是非ご利用ください。(DVDは資料室でもご覧いただけます)

貸出期間

図書 5冊まで2週間

DVD 2本まで1週間
※高知市外在住の方は2週間

「図書団体貸出」をご利用ください!

県内の市町村や学校、公民館などに貸出を行っています。詳しくはソールまでお問い合わせください。

高知大学地域協働学部地域協働学科ソール実習班の学生さんに、企画展示として利用していただきました。

学生や教員の方に向けて、『女性の働き方』をテーマに企画展示を実施しました。どんな本が置いてあるかなど、また、実習メンバーが制作したポスターやPOPにも興味津々に立ち寄って見てくれました。



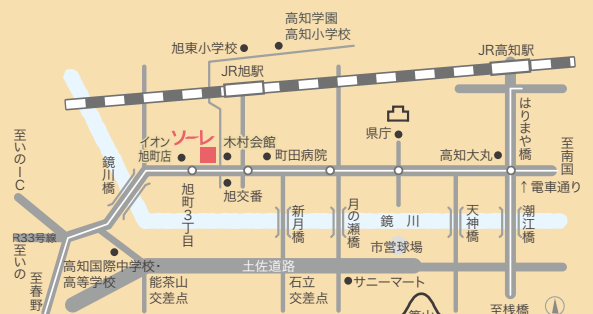
施設利用のご案内

- 貸室利用時間
9:00~21:00 (土・日・月曜日9:00~17:00)
- 休館日
第2水曜日・祝日・(年末年始)12月29日~1月3日
- 図書・情報資料室
9:00~20:00 (土・日・月曜日9:00~17:00)
※ただし図書利用カードの発行、及び再発行の受付は17:00まで
- 相談室
9:00~12:00、13:00~17:00(受付は16:00まで)
(専用電話/088-873-9555)
※第2水曜日、祝日、12月29日~1月3日は休室です

あなたの声をお聞かせください

- 電話 088-873-9100
- Fax 088-873-9292
- Eメール sole@sole-kochi.or.jp
- HP <https://www.sole-kochi.or.jp>

SOLE SCOPE (ソール・スコープ)のSCOPEは、広さ・広がりという意味。ソール(イタリア語で「太陽」)を拠点として、情報が広がることを意味します。



- 所在地
〒780-0935 高知市旭町3丁目115番地
- アクセス
電車…「旭町3丁目」徒歩約1分
バス…「旭町3丁目」徒歩約1~3分
JR…「旭駅」徒歩約5分

駐車場の台数が非常に少ないため、お越しの際には公共交通機関のご利用をお願いします。